こころと身体 Soteria GMC

札幌市北区篠路

# 五稜会病院 広報誌第71号
# 令和3年残暑～秋

令和3年8月7日8日、札幌で開催された東京オリンピックのマラソンが無事終わりました。ものすごい暑さでしたが、今は秋の空。段々と過ごしやすくなってきます。

コロナが蔓延しています。全国では、1日に2万人以上、北海道でも連日500人前後と推移しています。令和3年8月27日から、北海道では今年3回目の非常事態宣言になりました。一体何時まで続くのでしょうか。変異株が出現してくる限り、終わりがないのかもしれません。我々に出来ることは、マスク着用、手洗い、三密を避けるなど日頃の感染対策でしょうか。五稜会病院では、通院と入院患者さんを対象にコロナのワクチン接種を行っています。コロナ感染予防の切り札、積極的に取組んで行きます。

コロナ禍の中、令和3年8月25日26日の両日、五稜会病院において病院機能評価の審査が行われました。今回は、4回目の受審になります。審査担当のサーベイヤーから、素晴らしい取組をしているとの高評価を戴きました。この受審を機にさらなる病院機能を高め、「人に優しい精神科病院」にしていきたい所存です。宜しくお願い申し上げます。

医療法人社団五稜会病院理事長・院長：中島公博

## 五稜会病院の理念

### 情熱と個々への配慮

1 患者さんの病前の社会背景と病状を理解し、個々を尊重する治療に努める。
2 医療の情報開示を行い、患者さんとの信頼関係を大切にした医療を行う。
3 地域医療連携を密にし、精神科・心療内科の基幹病院としての役割を担う。
4 臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める。

## 学会･研究発表

五稜会病院では、最新の医療を提供出来るように、日々研鑽しております。例年通り、札幌市病院学会、北海道病院学会、日本精神科医学会学術大会などの地方会、全国学会、研究会へ積極的に参加していきます。

### 御　案　内

最近では、オンラインでの学会が増えました。
発表内容もオンデマンドで配信するなど、今までにないやり方になっています。時代は常に変化しています。
学会参加や研修のあり方について、その変化に合わせて柔軟な対応をしていくつもりです。

### 学会・研究会

★第10回日本精神科医学会学術大会（横浜）
令和3年9月9日～10日　Web・ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄ開催
「五稜会病院でのADHDの診断と治療の取り組み」
中島公博
「隔離を繰り返し退院支援が困難だった双極性感情障害患者への支援-隔離中からﾘｶﾊﾞﾘｰ視点での介入を試みたｹｰｽ-」　中村英介
「精神科療養病棟の看護師が患者へ抱く陰性感情の詳細についての分析」　田中　愛
「ﾃﾞｲｹｱ利用者が初めて役割行動を起こすに至った要因～利用者の視点から～」　高橋真梨
★第117回日本精神神経学会学術大会（京都）
令和3年9月19日　Web・ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄ開催
「五稜会病院における入院患者の意思決定支援の取組み」　中島公博
★ｼﾞｬﾊﾟﾝﾌｧﾐﾘｰﾜｰｸﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ　令和3年9月19日
ﾒﾘﾃﾞﾝ版訪問家族支援浜松基礎研修（ｵﾝﾗｲﾝ）
吉野賀寿美

### 論文・エッセイのご紹介

「精神科領域におけるCOVID-19の影響について」
中島公博　札幌市医師会北区支部かわら版　2021
「「B」から「A」へ」
中島公博　札幌市医師会広報誌札医通信　2021

## 患者さんの権利綱領

五稜会病院の職員は、患者さんの次の権利を順守して日々の医療を行います。

1 安全で適正な医療を公平・平等に受ける権利
2 個人の生き方、信条、尊厳などが尊重される権利
3 病状、検査結果、治療方法・結果などについて、納得のいく説明を受ける権利
4 十分な説明や情報提供のもとで、どのような医療を受けるかを選択する権利
5 如何なる不利益を受けることなく、検査・治療などを拒否する権利
6 希望によりセカンドオピニオン（他の医師の意見を聴くこと）を受ける権利
7 如何なる場合も、個人情報やプライバシーが守られる権利

## 最近の精神科医療政策のご紹介

### ★令和3年度障害者総合福祉推進事業

「障害者総合福祉推進事業」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（平成17年法律第123号）を踏まえ、障害者施策全般にわたり引き続き解決すべき課題や新たに生じた課題について、現地調査等による実態の把握や試行的取組等を通じた提言を得ることを目的とした事業です。助成対象となるのは、都道府県及び市町村または、社会福祉法人、特定非営利活動法人、社団法人、財団法人その他の法人が主体となり、指定課題について実態調査、検討等を行う事業で、2010年より毎年公募されています。応募された事業については、「障害者総合福祉推進事業評価検討会」にて、採択の可否等を決定します。

◎28番事業（中島公博が参画）
「障害者虐待防止の効果的な体制整備及び精神科医療機関等における虐待防止のための啓発資料の作成と普及に関する研究」

精神科医療の領域においては、自治体に対して精神科医療機関における虐待防止等の取り組み事例を周知するなど、虐待が疑われる事案の発生防止や早期発見の取り組み強化に努めるよう要請しているところであり、精神科医療機関等における医療従事者を対象とした、虐待事案発生防止のための啓発資料を作成し、医療機関が虐待防止にかかる取り組み強化のための研修等を行う際に活用することを目的としています。

◎45番事業（日本精神科病院協会、中島公博責任者）
「行動制限最小化委員会の実態に関する調査」

医療保護入院診療料を算定する病院は、隔離等の行動制限を最小化するための委員会（行動制限最小化委員会）において入院医療について、定期的（少なくとも月１回）な評価を行わなければなりません。しかし、同委員会の活動状況に関する調査が不足しているということから、本事業は、行動制限最小化委員会の実態把握を行うとともに成果物の収集・公表を行うことで、行動制限の最小化を推進することを目的としています。

令和 4 年 3 月までに全国調査の結果とそれによる考察についてとりまとめた報告書、ならびに、精神科病院の現場で活用可能なマニュアルを作成致します。成果物は、日精協のホームページに公表し、全国に発信する予定です。

**当院は患者さん本位の医療を提供しようと考えております。**
**お気づきの点はご相談下さい。**

## 治験のご協力のお願い

現在、当院では「うつ病」「小児統合失調症」に対する薬剤の臨床治験を行っています。創薬（薬を創りだす）は国家戦略の一部です。臨床治験を行わないと、良い薬を世の中に出すことは出来ません。参加される方には負担軽減としての費用を差し上げています。

うつ病（成人）

抑うつ気分、興味喜びの喪失感等の症状があればうつ病の診断になります。抗うつ剤を使っていても効果がない場合に、補助として抗精神病薬を加えると改善することもあります。新たに、統合失調症の治験を開始する予定です。

**IRB（治験審査委員会）**

治験を実施する際に、倫理性に問題がないか、治験参加者の「人権」と「安全性」に問題が無いかなど、治験の倫理性、安全性、科学的妥当性を審査する組織です。五稜会病院では、月に1回開催しています。

## 五稜会病院　概要

**標榜科名**：精神科・心療内科・内科・消化器科
**病床数**　193 床
急性期病棟　48 床
ｽﾄﾚｽｹｱ・思春期病棟　48 床
療養病棟 A　49 床
療養病棟 B　48 床
**従業員数**　約 200 名
医師数　常勤　８名　非常勤　５名
看護師　71名　准看護師　10名
薬剤師　2.5名
臨床検査技師　１名　非常勤　４名
臨床心理士　９名　（公認心理師　８名）
作業療法士　10名　ｽﾎﾟｰﾂｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ　５名
精神保健福祉士　10名　管理栄養士　２名
**五稜会病院沿革**
開　設　昭和47年（1972年）
医療法人開設　平成２年（1990年）

### 編集後記

今年の夏は、猛暑でした。その中で、札幌で東京オリンピックの競歩、マラソンがありました。選手の皆さんは、本当に頑張りました。今は、秋風が吹いています。コロナ禍が早く収まって欲しいと思います。(K.N)

発行：令和３年８月27日
〒002-8029
札幌市北区篠路９条６丁目２－３
GMC Goryokai Medical Corporation　こころと身体のクリニック　医療法人社団　五稜会病院
発行責任者：広報委員　竹原幸佑・中島公博
電話：011-771-5660
http://www.goryokai.com
mail：GMC@goryokai.com

# 病院機能評価で素晴らしい評価の連発！！

令和3年8月25日26日の両日、3名のサーベイヤーによる機能評価受審が終わりました。日本医療機能評価機構ホームページでは、「病院機能評価は、我が国の病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行うツールです。当機構は、病院機能評価を通じて、病院の質改善活動を支援しています。」とあります。準備に奔走したスタッフならびに受審時にも通常の診療を滞りない遂行に当たったスタッフ皆で乗り切りました。2日目の12時～1時間に亘り、機能評価の各項目につき講評をして戴きました。各項目ともに「素晴らしい取組みである」との連発に、擽ったい気持ちになりました。

サーベイヤーの先生が述べておりましたが、受審前に病院のホームページを見て、様々な病院の紹介記事、コロナ発生状況を包み隠さずに公表していること、Clinical Indicatorを10数年前から提示していることや理事長ブログをみても温かみが伝わってくるなど、受審前から良い病院との印象だったそうです。実際に病院に来院して、患者さんやスタッフが生き生きとしている姿をみたこと、機能評価の項目だけでは精神科病院の評価は出来ないが、病棟をラウンドした際に患者さんが、「院長先生が毎日来てくれて声を掛けてくれています」と話したのを聞いて、それが一番病院機能を評価できることだなどと言っていました。

この数年の五稜会病院の新たな取り組みとして、心理師が関わっている発達障害の初診から診断確定治療開始ツールの開発（GMC・ASD/ADHD診断パック）、井端累衣心理師が中心となって、ストレスケア・思春期病棟で実施している睡眠の集団認知行動療法、吉野賀寿美看護部長他のメリデン家族支援の3つが挙げられます。精神科の患者さんのニーズは常に変化していきます。ニーズに合わせた新しい取組みを創造していくことが、患者さんから評価される病院になっていきます。

五稜会病院は想像と創造する医療機関です。機能評価受審を機会にさらなる病院機能を高め、「人に優しい精神科病院」を創って行きたいと思います。

（理事長・院長：中島公博）

# 勤続30年以上で表彰されました！

当院職員が日本精神科病院協会永続勤務者（勤続30年以上）表彰を受賞しました。
今回2名が表彰を受けましたので、メッセージをいただきました。

入職は1976年。当時、多くの方が長期入院を余儀なくされ、その結果、本来の力を失うことで更に退院が困難になる状況にありました。
その後、デイケアや訪問看護の充実、住居系サービスや就労関連のサポート等の制度化、ピアサポーターの活躍などにより、以前よりも短期間のうちに地域生活の場に戻れるようになるなど、当事者が力を発揮し易い状況になって来ました。そして、これらの変化は、当事者が治療に参画するようになったことや、様々な苦労に直面しながら地域生活を送ることを積み重ねて来た結果だと、実感しています。
「変わり難いけれど変えられる」ということを胸に、これからもより良い状況変化に向けて一緒に取り組んで行けたらと。

精神保健福祉士　三浦一恵

思いもかけぬ表彰を頂いて嬉しかったです。
只、永く勤務させていただいているだけで、医療の現場ではまだ未熟なのにと思っております。
働きやすい環境とスタッフに支えられている事に感謝いたします。
これからも人と人との会話のコミュニケーションが出来るよう、それを大切にして行きたいと思います。

看護師　東出　敬子

# ストレスケア・思春期病棟 集団心理療法プログラム

ストレスケア・思春期病棟は、プライバシーに配慮し人目を気にせずゆったりと過ごすことができる個室中心の開放病棟で、主にうつや不安などのストレス関連の疾患を抱えている方が入院しています。ストレスケア・思春期病棟では、公認心理師による認知行動療法に基づく集団心理療法プログラムを実施しています。このプログラムでは、6～8名の少人数を対象に、症状を軽減したり、問題を解決したりするためのヒントを提供しています。

## ●コミュニケーション・ゼミナール

「思ったことがうまく言えない」といった悩みに対して、率直な自己表現のコツを知り、練習などを通して自分の考えや気持ちを上手に伝える方法を学びます。

## ●ココロのストレッチ

「ついつい考えすぎてしまう」「嫌な気分を引きずってしまう」といった状態に対して、「考え方のクセ」を見つめ直すことで、バランスのよい考え方を学びます。

## ●感情のトリセツ

「自分の気持ちがわからない」「感情に振り回されている」といった状態に対して、感情の本来の役割を知り、感情の悪循環から抜け出す方法を学びます。

## ●イライラ気分との付き合い方

イライラ気分（怒りの感情）によって起こる問題を解決するために、イライラ気分のメカニズムについて知り、考え方や行動を適切に調整する方法を学びます。

## ●睡眠セミナー

「寝付きが悪い」「途中で目が覚めてなかなか寝付けない」といった眠りにまつわる問題を改善していくために、睡眠に関する知識を提供し、睡眠の質を上げるための正しい工夫を学びます。

その他、思春期の患者さんを対象とした交流プログラムなど、さまざまなプログラムを実施しています。

（心理室　広瀬慎一）